

校長室だより



H & S 配信版

令和7年5月15日

春日井市立松原小学校

私たち大人にできること

気温が低かった4月とは違って、日中の気温が高くなってきました。学校では、屋外に熱中症指数計を設置して、本格的な暑さ対策が始まりました。屋外や体育館の活動時は、こまめな休憩や給水を心がけて、授業を進めていくようにします。ご家庭では、十分な休養、十分な栄養を心がけていただいて、お子さんの体調管理をお願いします。寝不足にならないように、ご注意ください。



赤ちゃんメダカ 誕生！

さて、5月に入ったあたりから、子どもや家族に関係する心痛む事件や事故が多く報道されています。子どもたちの健全な心の成長に向けて、私たち大人にできることはなんだろうと考えさせられています。

昨年の夏、19年半の間、一緒に過ごした愛犬を亡くしました。3人の子育ての間、楽しいときも、悲しいときも、すごく忙しいときも、いつも家族に寄り添ってくれた大切な家族でした。その後、あまりの寂しさのために、以前から決めていた保護犬を我が家に迎えました。1才半の彼は繁殖犬として役に立たず、辛い日々を過ごしてきたと想像できます。初めて会った時、人に対して異常な拒否反応をしました。常におどおどして、小さな音にもびくびくする。警戒するような白い目で見る姿にどう対応しようかと悩む日々。何日たっても、ワンと鳴くことがなく、もしかしたら鳴けないのかと心配になりました。あるとき、ワンと鳴いた時にはとてもうれしかったです。きっと、ワンと鳴くと叱られるから、ワンと鳴けなかったのだろうと予想できました。その代わりに、寂しいとき、不安な時は、どこから出しているのかと思うような「キュルキュル」という小さな音を出しました。生きるために編み出した彼なりの方法だったのだと思います。犬の1歳半は人間でいう20歳と言われています。心や体を育む大切な大切な時間をどう過ごしてきたのだろうかと心が痛みました。もうすぐ我が家に迎えて8カ月になります。最近、お手ができるようになりました。私が穏やかにのんびり穏やかなとき、私の手を軽くかむ「あまがみ」をして甘えるようになりました。私が家にいる間は、ずっと真横にくっつき続けます。帰宅すると尻尾をふって、ピョンピョンと高く跳んで喜ぶようになりました。いけないことをしたときに叱ると、悪い顔をして寝たふりをするのは、彼なりに編み出してきた逃避方法です。全くできなかったトイレトレーニングもできるようになりました。でも、動物病院に連れていくときに車に乗せると、異常に怖がり、その後長い間不安そうになります。またどこかに連れて行かれてしまうとフラッシュバックするのだと獣医さんは言います。まだまだ家族以外の人への警戒は大きく、時間はかかるかもしれないけれど、精いっぱい愛情をかけて、人は優しいよ、ここは大丈夫と覚えてほしい、今の私の願いです。

さて、私は「もも」との日々を通して、こう思います。人と犬を比べて・・・とお叱りを受けるかもしれませんが、今、目の前にいる子どもたちの一日一日がいかに大切かということです。子どもたちのすぐ近くにいる大人がどう接するか、どう声をかけるか、心と体にいっぱい愛情をかけて、その時その時に必要なしつけをしていくことがいかに大切かということを痛感しています。どの子も大切な子どもたちです。みんなで守り育てていきたいです。

就学時健診やPTA総会で話したように、子どもたちの話に耳を傾けてきちんと聞くことが大事だと言われています。どんな話でも家で話すと、きちんと聞いてもらえるという安心感を持つと、子どもたちは話しても大丈夫と思うようになるそうです。いいことも悪い

こともまずは「そうなんだね」と聞いてあげましょう。できれば、「どう思った（思っている）の？」と聞いてあげるといいです。これがポイントかもしれません。つつい行動に目がいきがちですが、その時の気持ちをその時に聞くことが大事です。全部聞いてから大人としてのアドバイスをしてあげてください。できれば、「おかあさんは・・・と思うよ」「おとうさんはこう思うよ」などのアイメッセージで伝えてあげてください。学校では、今年度も「にっこりタイム」が始まりました。相手の目を見て、うなずきながら、話を最後まで聴く。子どもたちはとても楽しそうで笑顔がいっぱいです。なぜでしょうか？それは、話を聞いてくれるという安心感があるからです。さて、保護者の皆さん、子どもたちの話に耳を傾けていますか？テレビやスマホ、パソコンを見ながらではなく、子どもたちのつぶやきに耳と心を傾けてあげてください。この毎日の小さな積み重ねが、大人への安心感や信頼、思いやりの心を育み、大切な人を心配させないように、困らせないようにという自分の行動を抑止することにつながるそうです。まだまだ間に合います。子どもたちの将来のために、子どもたちとの時間を大切に過ごしてほしい。そう願っています。子育てで悩むことがありましたら、声をかけてください。話を聞いて一緒に考えることができます。保護者のみなさんも話をする事で、自分の考えを客観的に見つめることができます。子育ては、答えが一つでないことが多く大変、そして悩むことが多いです。ほんの少し早くそれを経験してただけですが、お役に立てたらうれしいです。ハードルが高いと思わず、声をかけてください。また、学校にはスクールカウンセラーが定期的に来校して相談することができます。興味のある方は担任か教頭までご相談ください。

熱中症対策の準備をお願いします

本校の「熱中症対策」についてお知らせ（確認）します。下の表は一例です。必要に応じて、準備をお願いします。お子さんの安全を第一に考えて、保護者の判断で熱中症対策をお願いします。ただし、授業の妨げにならないような配慮をお願いします。使い方や保管方法については、お子さんと一緒に確認をお願いします。すべてに記名してください。

① 日傘の使用 OKです

黄帽子については、日傘をさしていても、かぶるようにお願いします。

② 保冷タオルの使用 OKです

暑い時に水でぬらすとひんやり冷たくなるタイプの保冷タオルの使用OKです。学校で保管用のビニル袋を持たせてください。安全のため、可能ならば長くないタイプのものをお願いします。アイスクーリング（リング）もOKです。

③ 保冷剤の持参 OKです

登校時のみとなりますが、保冷剤をタオルでくるんで首に巻く等、工夫して使用していただきたいです。学校で保管用のビニル袋を持たせてください。学校でもう一度冷凍することはできません。ご理解ください。

④ リュックサック OKです

必要に応じて、ランドセルの代わりにリュックサックを認めています。

⑤ 十分な水分の準備をお願いします 塩分補給タブレットもOKです

水筒の中身については、お茶が望ましいですが、熱中症対策のためのスポーツドリンクや経口補水液等もOKです。タブレットについては、体育などの屋外の活動の前後や登下校時のみ、放課の時間に教室で食べるように、他の子にあげないように、ゴミは家に持ち帰るように声かけしていきます。ご協力ください。

塩分・糖分の取り過ぎにはご注意ください。

☆昨年度もお願いしましたが、保健室で使う保冷剤の寄付にご協力ください。3cm×5cmくらいの方の大きさの保冷剤をお願いしたいです。ありましたら、校長室前の箱に入れるように、伝えてください。

☆ 笑顔であいさつ しっかり聞こう 元気にすごそう ☆

「何事にもチャレンジし自分らしく学び続ける子」「自分も相手も大切に正しく行動できる子」